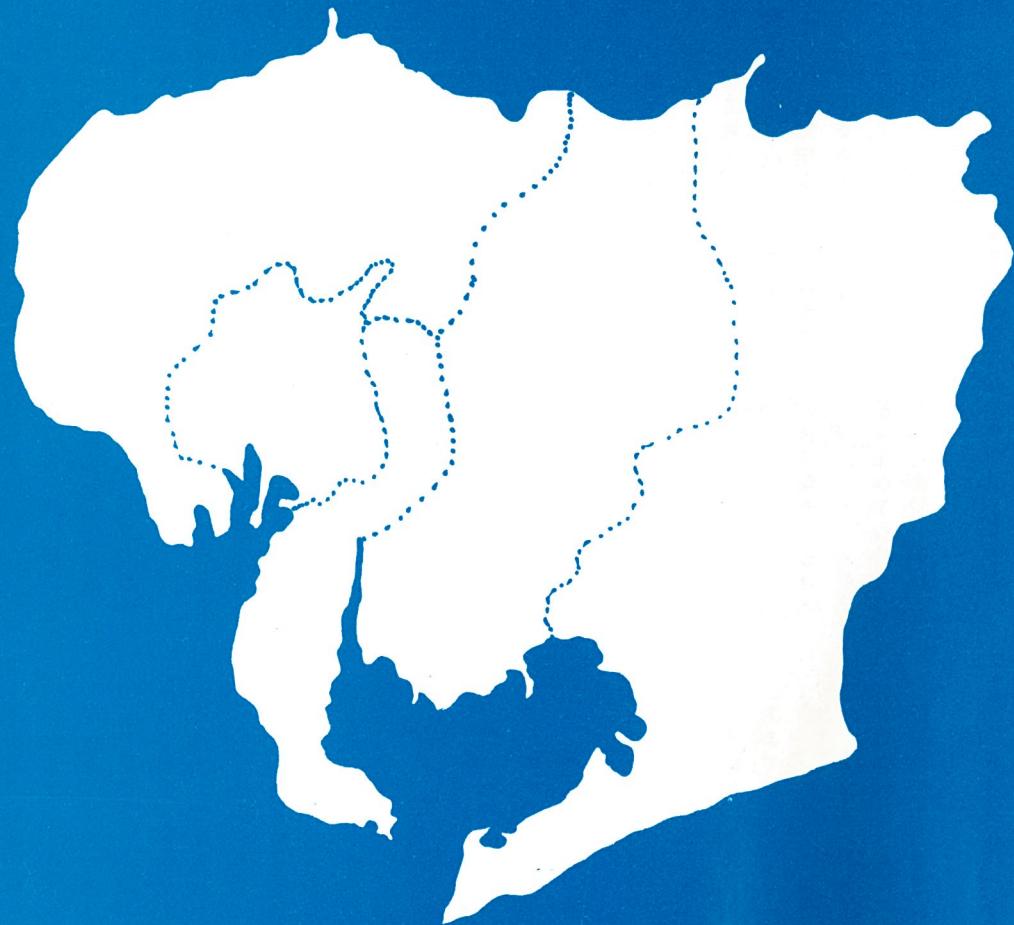


観の眼



— 目 次 —

巻頭言	1	隨想	15
特集 親と子と剣道	2	最近の居合道	16
国際化する剣道	7	◎ 顕彰	17
東海武道学会報告	9	おめでとう	17
道場紹介 葵剣友会	11	事務局だより	18
お奨める本	12	平成14年度事業計画	20
剣道形大会について	13	連盟所在地	23
名古屋市小中学校対抗剣道大会について	14	編集後記	24

第26号



財団
法人

愛知県剣道連盟

親と子と剣道

特集

愛知県教育委員会が「いきいきあいちっ子キャンペーン」によって青少年健全育成活動を展開している中、剣道連盟の広報委員会もその趣旨をとりあげて「親と子と剣道」と題し各地区連盟から推せんされた方々に投稿して頂きました。が残念ながら東三河地区連盟からの投稿はありませんでしたので割愛させて頂きました。

尾張地区

新川芳朗

親子で剣道を始める切掛けは、子供が三才の時の風邪が原因で気管支喘息になり小学校に入学を機会に体力をつけるため、なにかスポーツをさせたく水泳をすすめましたが子供が嫌がり剣道をすすめると「剣道をやる」と言い、母親が近くの道場をさがし入会させてもらいました。

初めは子供だけ練習に通っていましたが、私も一度見学に行こうと思いついていたら学生時代を思い出し練習がしたくなり一緒に始めました。

子供が一生懸命に稽古をする姿を見て、私がしつかりしなければと思い勇気付けられました。家では母親

「お母さん、今日剣道の日でしょ。頑張つてね。」「じゃ、いってきます」週二回こんな言葉を交わし剣道場に竹刀を肩に向います。今回「親と子の剣道」と題して、投稿の依頼があり私に協力出来るようなことがあればとお引き受けいたしましたが、剣道を始めて一年足らず、何を書いていいやら非常に悩みました。

しかしこの様な機会に恵まれたことに感謝すると共にすばらしい先生方との出会い、剣道を通じて子供達が今何を感じているのか、又自分自身の人生を違う角度から見られるのではないかと思える様になりました。

私は三人の子供がいます。高一、小六の娘と小一の息子。下二人が中川署の道場で教えていただき五年目になります。その間、私も週一度、子供と一緒に足を運び二、三時間座つて見ているのが四年程続いていました。すばらしい先生のおかげで段々と上手くなり大きな声も出、技も少しづつ覚えてきました。私も先生の剣道の言葉が耳になじみ、稽古で疲

まれて帰つてくる我が子に「声が出ていないかったよ。足が違う」だの、「もつとしつかり腕を上げなきや。」と。小さい頃は「うん、うんわかった」と答えていたものの、高学年になり身体も成長し、反抗心もそろそろ芽生えてきました。そして「ごちやごちやとうるさい。」だの、「お母さんなんかやつてもいいのに、一パンやつたらわかるワ、声だつてちやんと出しているのに、もう見てなくていい。」と。きっと本心だったのでしょうか。さあそれから私の好奇心の虫がだまつてしまふ。子供がそれ程云うな本取つてやろうと。しかし、今からでは体力的にも時間的にもいくつもの壁があります。夫の協力も、仕事も。とにかく始めれば。そして露橋スポーツセンターの門を叩くことが出来ました。夢の様でした。でも本当にやれるのか?続けれられるのか?不安と期待で頭の中はパニック状態でした。回を重ねて行く内にそんな心配もふつ飛んでしまう程、私の心に何もかもが、新鮮に写りました。素敵な先生方に出会えたこと、多くの子供さん達と一緒に出来ること、なんとかやつていけ

「繼續は力なり」又いつも基本、原点に戻つて気持を正直にしよう。こんなことを考えながら、安保先生がいわれた「きれいな剣道に」に少しでも近づける様。日々努力したいと思つています。子供は云いました。「剣道をやっているお母さんは特別

でもなく尊敬する程でもなく、少し頑張つているだけですよ。」「つて、ちょっとびりがつきかりしたけど、丁度いいかなって。これからも多くのを学びながら、子供達と一緒に成長をしていけたらと思います。

親子で剣道をされているご家族をよく目にしますが、とても素敵だと思います。現在の世の中、虐待や、引きこもりなど、親子関係がうまくいかず悲しい結果を、むかえてしまう事も残念ながら少なくありません。それを何とかする為に、親子で一緒に楽しめるものがあれば、一つでもそういう、悲しい事が減る様な気がします。その一つの方法として、剣道が、いいと思います。剣道は年齢に関係なく、長く続けられますし、年を重ねる程、奥が深く、親子一緒に目標を持つて汗を流す。それってすばらしい事ではないでしょ

私の両親は剣道をやつていません

が、剣道を続けて二十数年が経ち、

今となつては、両親と同年代の大先輩の剣道仲間が出来ました。本当に

すばらしい人達ばかりで、剣道で強くなる事よりも、もっと大切な事を

教えて下さる仲間であり、人生の目標になりました。あんなふうに、

素敵に年を重ねていきたいなと思

ます。

私は子供が三人おりますが、いつか、家族で剣道をやれたらいいなと思います。又、育児は育自ともいますように、子供から教えられる事も多いのですが、私の今までの剣道人生!本当にすばらしい経験ばかりなので、機会があれば、親として一人の母親剣士として、一人でも多くの子供達に、剣道の楽しさ、厳しさ、又、剣道を通しての出逢いのすばらしさを、教え伝えていきたいと思つております。



尾南地区

笹山晴美

「ただいま。明日から剣道を習いたいから早く申し込んで」剣道再開のきっかけは、小学二年生になつた娘のその一言からでした。その年の十月に、私が中学時代お世話になつた剣道部顧問の先生宅へ娘が泊まりに行き、その娘さんが通う道場で見学した時、初めて見る剣道に強く引かれたようでした。正直今まで夜は、テレビや新聞を見たりしてゆつくりと過ごしていたので、週三回の送迎に、すぐには良い返事が出来ませんでした。しかし、娘の誕生日の「早く申し込んで早く!」の言葉に押しきられました。それまで、野球をやろうかサッカーをやろうか迷っていた三つ上の兄も誘い、兄妹で道場に通うことになり、送迎が始まりました。小学生の練習時間は、夜六時から八時までの二時間程度で、最初のうちは終わる時間まで見学をしていました。それが一週間二週間と経つうち、ただ待つていていた矢先、道場の先生が誘つて下さった事もあ

験にも意欲的に挑戦しました。四段に合格し、五段を受ける時には子供達は、小学生の部から中学生の部に変わりました。私は、そのまま小学生の部に残り集中力、スピード、瞬発力のある小学生達と一緒に練習させてもらい、道場の先生方の心強い指導もあって五段に合格する事が出来ました。

夏は道衣が絞れる程の汗をかき、冬は足が凍り付くような冷たい道場での練習ではありますが、これからも先生方に指導して頂いた事を自分なりにかみくだき、子供達に伝えていきたいと思います。あと十年二十年と動ける限り、楽しみながら剣道を続けていきたいと思います。

理想的には①子供には剣道の動作法、礼儀、更に剣道を通じて忍耐力、判断力、集中力、協力、敬愛などを学んでほしい。②指導者は正しい剣道の普及、健全な人間の育成、自身の人格形成・技能の向上、誠心誠意の指導をしなければならない。

③父母は子供の剣道技術の向上とともに礼儀、しつけ、物事に正面から取り組む姿勢、社会性等を見につけることを望んでいる状況です。

現在は地元の剣道教室で自分の子供、小学生、中学生を指導しています。わたしは子供たちを相手に一生懸命指導しているつもりですが、それとは裏腹に語気が荒くなり品位にかけているのではなく、しばしば反省します。やはり自分自身を省みず、自分で出来なかつたことまで子供に

西三河地区

長沼嗣雄

私が子供たちと「剣道」を通じて関わりだしてから、はや二十数年経ち、現在は中学生二人の父親です。

独身時代は親の我が子に対する「思い入れ」「期待」など理解できる訳もなく、ただ、一緒に防具を着けて稽

古をしていただけでした。そして自分が合格し、五段を受ける時には子供達は、小学生の部から中学生の部に変わりました。私は、そのまま小学生の部に残り集中力、スピード、瞬発力のある小学生達と一緒に練習させてもらい、道場の先生方の心強い指導もあって五段に合格する事が出来ました。

夏は道衣が絞れる程の汗をかき、冬は足が凍り付くような冷たい道場での練習ではありますが、これからも先生方に指導して頂いた事を自分なりにかみくだき、子供達に伝えていきたいと思います。あと十年二十年と動ける限り、楽しみながら剣道を続けていきたいと思います。

理想的には①子供には剣道の動作法、礼儀、更に剣道を通じて忍耐力、判断力、集中力、協力、敬愛などを学んでほしい。②指導者は正しい剣道の普及、健全な人間の育成、自身の人格形成・技能の向上、誠心誠意の指導をしなければならない。

③父母は子供の剣道技術の向上とともに礼儀、しつけ、物事に正面から取り組む姿勢、社会性等を見につけることを望んでいる状況です。

現在は地元の剣道教室で自分の子供、小学生、中学生を指導しています。わたしは子供たちを相手に一生懸命指導しているつもりですが、それとは裏腹に語気が荒くなり品位にかけているのではなく、しばしば反省します。やはり自分自身を省みず、自分で出来なかつたことまで子供に



り、中学・高校6年間でやめ『二度とやることはないだろう』と思っていました。大きな声を出してね

いた剣道を再開させることになりました。

刀を持ち、道場の先生に素振り、踏み込み、すり足を教えてもらつていて、防具をつけ試合の順番を待つ

のを横目に、不安もありましたが、十五年振りに竹刀を握りました。気

持ちを集中させ、大きな声を出して、小学生と並び練習を始めました。今

までの運動不足のせいで、ひどい息切れもありましたが、久し振りに気

持つのに良くて汗をかきました。この爽快感もまた、私も忘れる事が出来ません。二人の子供とも同じスポーツに夢中になれるというのも嬉しかったです。

主人は剣道はやりませんが、子供や私の試合、段審査などには必ずビデオを持って応援に来ます。そういう協力のおかげで、気持ちは練習に励む事が出来、

本当にありがたく思っています。

剣道を始めて5ヶ月経ち、子供達と竹刀を交える事が出来ました。「お

願いします。」竹刀を構えてお互いに大きな声を出し、「ありがとうございます」とございました」のあいさつをした時には、普段の生活では経験出来ない、少し照れくさいような、嬉しいような複

本當にありがとうございました。

雑な思いでした。剣道を習いだし4ヶ月たつたある日、「大垣で学年別の試合があるので二年の部に出ないのか」と道場の先生に声をかけて頂きました。

始めたとき、私達親の方がドキドキし、今にも口から

心臓が飛び出しそうなほど緊張しました。

結果は二本負けでした。最後の試合にしては上出来だったな」と

胸をなでおろしました。しかし、娘は戻つてくるなり私の隣にちょこんと座り、声を殺してしゃくり上げて泣きました。緊張のせいもあつたよ

うですが、それ以上に負けた悔しさがあつたようです。習い始めて間も

ないのに、勝ちたいという気持ちが

あったのかと思うと、隣で泣き続けた娘を見て私も涙が出ました。

こういう経験を重ねながら、二人共少しづつ上達していました。練習中に、試合稽古をしても一本取られてしまつたり、負けたりするようになると、私の方も力が入り、段試

があつたようです。習い始めて間もないのに、勝ちたいという気持ちがあつたのかと思うと、隣で泣き続けた娘を見て私も涙が出ました。

山田信輔

習うかどうか、一年間迷っていました。二〇〇〇年のお正月に新年の念発起して習い始めました。私が住んでいたパルアルト市の剣道道場に入りました。日本人の先生がやさしく教えてくれました。嬉しく思いました。基本的なことを学びました。足さばきが一番難しかつたです。たくさん努力しなければなりませんでした。

面をかぶると日常のことを忘れます。無我夢中で練習しました。生きるか死ぬか——真剣勝負です。一意専心、心をこめて竹刀を振りります。

この三人の先生が教えてくださいました。練習はとても厳しいです。本当に四苦八苦です。練習してすぐに左足の皮がめくれてしましました。ふつうに歩くのは不都合でした。先生が心配して足袋をくれたので練習を続けることができました。

いろいろな技も習いました。先生はいつも、「リラックス、リラックス」とアドバイスしてくださいます。



私と剣道

東洋音楽出版社

国際化する剣道

でも体力がいること起きません。腕が疲れる、息があがる、手がしびれる、心と体はちがいます。もうあきらめようかなあと思つたこともあります。

葉のように、少しずつ前に進みます。剣道のおかげで私は精神的に強くなったような気がします。日常生活においてもがまんできるようになりました。二年前の自分より成長したと思ひます。

さて、東海高校の剣道部について話したいと思います。

北村先生、西本先生、棚井先生、この三人の先生が教えてくださいま

練習はとても厳しいです。本当に四苦八苦です。練習してすぐに左

いろいろな技も習いました。先生
はいつも、「リラックス、リラックス」
とアドバイスしてくださいます。
続けることができました。

イヤアーメーンと気合いするどい掛け声が聞えて来る、豊田市東部住宅街の美里中学校の校門を入ると、美里修道館剣道クラブの稽古が始まっている。道場の中では様々な中学校、高校の剣士が真剣に稽古している、又、二十代、三十代のOB達や六・七段の高段者が熱心に指導する姿が見られる。そして、その稽古会を一際大きな声で指揮しているものがいる：・何とこれが私なのである。中年（四十二才）まで剣道が自分の人生の柱になるとは想像だにしなかつた私…。

私の父は戦前の宮崎中学時代、教員時代に宮崎に山田ありと言われた名剣士だった。そなたが戦後は剣道から遠ざかった生活を送ったため、一人息子の私は少年時代から野球をはじめありとあらゆるスポーツに熱をあげる体育系少年だったが何故か剣道とは無縁の学生時代を送った。社員となつてからは結婚し男ばかり四人の子供を持つた、そして三十二才でトヨタ自動社（株）本社に入社、

で、何かの時に孫に剣道の話をしたのかも知れないが、長男が剣道クラブに通う様になつた、それを見て次男、三男もこれに続いたのである。これも血筋のなせるものかな?と思つた。長男が美里中学剣道部に入部すると永年剣道から遠ざかつていだ父は豊田に来ると美里中の部活指導をする様になり、部活の先生とも仲良くなり繁々と通う様になつた。(これはその三年後に父が他界するまで続いた)四男が小学入学を目前にしていた頃、毎週兄達を剣道クラブに送つて行くと家には四男一人が残され淋しがるので、剣道クラブに入れてほしいと懇願したら、三年生以上という決りがあるが親が一緒にやれば許可しましようということでお付添いという気持で私が剣道クラブに行くことになった。(昭和五十三年春であった)

一方で、長男は中京大学、四男は林邦夫先生、堀山健治先生のご指導をいただける雙林館で稽古する様になりました、私と家族の林邦夫先生との出逢いとなつたのである。(この先生との出逢いが私の人生感を現在に導いたのである) 私の方のクラブ運営の方は何とか自分達の手で剣道指導をとの一念から、雙林館の稽古を二年間見学させてもらい、稽古の進め方から理合まで学びそれを自分達のクラブへ展開した。昭和六十年春、林先生から豊田市剣道連盟の事務局長をとの話があり、それには全剣道の段を取得する様にとのことで一級受験となつたのである。三ヶ月後初段を取得したが我が家では息子四人より一番遅い昇段が私であつた。(以来十六年間事務局長を務めた)

その間、平成七年私や息子達に深い愛情と理解で最大の協力をしてくれた妻を亡くし、次年に生徒や周囲の人に「人を愛することの大切さ」を教えてくれた野澤先生も亡くなりました、また学校の都合で美里中剣道部は廃

となつて帰つて来て、後輩の指導をして私を助けてくれている。これが私をクラブ運営続行の原動力かも知れない。この〇B剣士達の子供の中からまた剣道を始める子も出て来るだろうと楽しみにしているこの頃である。先日六段審査受験の折に林先生より「心眼」と柄に書いた竹刀をいただき、それを持って審査に臨んだ……お蔭様で昇段させて頂いた。これからも基本を大切にし、心を動かさない剣道を指導出来る様に精進して行きたい。又「剣道の理念にそつた青少年の指導を続けるがてはその子供達もまたその子も剣道を学ぶ時が来ることを信じたい。冒頭のように私のクラブには多数の高段者の先生が来ており、素人の私に色々と指導、助言をしてくれている、有難いことである。これも私が素人だからと思つてもいる、これからもずっと素人でありたい。「素人剣道」

の団体二回戦で当たった、地元ハンガリーのシゲットクジイ・ジュニア剣道クラブチームは決勝までのぼりつめ、いっしょに日本から参加した浜松大学と互角の素晴らしい試合を見させてくれました。その健闘ぶり、いい対戦した印象は強く心に残り、いい思い出となっています。ヨーロッパチャンピオンのエルディ、ハンガリーリーの宮崎兄弟と呼びたいデュビ兄弟、イ、男剣士を負かすバルバラ女史とメンバー五名、本当に素晴らしいチームでした。

日頃、

私たち
ここ日本
に居なが
ら毎日飛
び込んで
くる一方
的なニユ
ースや情
報で、か
なり世界
を知つて
いる気持
ちになつ
てゐるよ
うに思ひ

てが国際剣道をつくり、日本という國を作つて來たし、これからも作つてゆくのではないでしようか。大切なのは自由と尊重と調和と責任とう神声をもつたまつすぐな姿です。今まで私たちは多くの場合、やもすると自ら動かず、自黒、損得、善悪、正しい間違い、成功失敗ですか。それをやめてしまふといふか。大切なのは自己と他者を比較したりすることではなく自分としてどう想うか、感覺や個性を大切に見直すことではないでしようか、それによつて他へ、他民族、他國への尊重や配慮も生まれてきます。周囲を変えようとするのではなく、自ら変わることであります。阿部氏をはじめ、海外で精力的に活動する彼らの実験的ないくつかの大会や試みが、すこしづつですが確実に世界中で芽をだしてきていますことは、とても重要なことだと思います。

木村氏とも話したのですが、日本の一般的な道場、クラブ、さまざま剣道組織が今後、自分たちの日頃積み上げた稽古の力試しも含めて、ハンガリーカップのような国際的な大会へ参加する機会が多く与えられる、今後の日本剣道に大きな意味を



私たちはここ日本に居ながら毎日飛び込んでくる一方的なニュースや情報で、かなり世界を知つてゐる気持ちになつてゐるようだ。

てが国際剣道をつくり、日本という國を作つて來たし、これからも作つてゆくのではないでしようか。大切なのは自由と尊重と調和と責任という神聲をもつたまっすぐな姿です。

今まで私たちは多くの場合、やもすると自ら動かず、白黒、損得、善

大切なのは自己と他者を比較したりすることではなく自分としてどう想うか、感覚や個性を大切に見直すことではないでしょうか、それによつて他へ、他民族、他国への尊重や配慮も生まれてきます。周囲を変えようとすることはなく、自ら変わることでよいことでしょう。阿部氏をはじめ、海外で精力的に活動する彼らの実験的ないくつかの大会や試みが、すこしづつですが確実に世界中で芽をだしてきていることは、とても重要なことです。

木村氏とも話したのですか、日本的一般的な道場、クラブ、さまざま剣道組織が今後、自分たちの日頃積み上げた稽古の力試しも含めて、ハングリーカップのような国際的な大会へ参加する機会が多く与えられるとして、今後の日本剣道に大きな意味を

東海武道学会報告

中川治彦

東海武道学会は、武道全般にわたる諸研究の発表と同時に、武道の実践やその取り組みにおける情報交換を通して、武道の発展、充実を目指し、学会活動を展開しています。

これまで、大学の研究者による武道に関する諸研究の成果の発表、中学校及び高等学校における武道実践の発表、あるいは武道家による講演の発表等が学会でなされてきている。

また、武道の実践に隈わる今日的な諸課題等について討論等を行うなど活発な活動をしている。

さらに、こうした活動の成果は、学会誌「東海武道学雑誌」にまとめ毎年発刊がなされている。

最近では、平成十二年に「武道教

もつてくるのではないでしょうか。是非、機会をつくって、飛び込んで欲しいと思います。先人たちが伝え広げ、作り上げてきた素晴らしい道を、今度は私たちが高く深く広げ伝えてゆく番ではないでしょうか。そのため、私たちひとり一人がまず

なる人と人が剣道を通して交わりあう。その瞬間、竹刀というもののでコミュニケーションを取ること。切つた先の攻防、いやもつとレベルを下げて竹刀の叩き合い。言葉という手段ではありません、お互いの生きざまのぶつかり合いというのでしようか、そこには技のレベルとは関係なく、等身大での異文化の交流が生まれます。それゆえの思いが交差しながら結果的にハーモニーが生まれるのでしょうか。このことが国際大会参加への大きな価値と意味になると 思います。

ハンガリーカップのはじまりは86年に近隣数カ国の剣道愛好家たちが

ます。それはそれで間違いではないで
すが、自分の体で体験するこ
とにより得られる感情や理解とはまつ
たく次元のことなるものではないで
しょうか。表面的には見えない部分
があるというのか。味わうことで確
信できることは重要です。日本と欧
州は経済的にはもちろん、宗教やモ
ラルも教育も異なります。あたりま
えですが言葉も体形も違います。剣
道に対するメンタフアーな情報量も
技術の指導体制もレベルも違います。
そして民族的バックボーンも別の流
れをもっています。小さな大きさ星

変わることではないでしょうか。
最後にもうひとつ、大切なことを
書き忘れていました。今回のチーム
メイトであつた、木村氏の娘さん真
央さんが見事、女子個人戦で優勝し
ました。

あるそうですが、歐州での大会はいくつかあるのですが、各國の代表選手だけが出場資格を持つため、東欧の一般的な剣士にとつても私たち日本人の一般的な剣士にとつても、事実上このハンガリーカップが現在、唯一の参加可能な国際大会ではないでしょうか。今、世界の剣道は、発展途上です。一つひとつ開催される大会が、試行錯誤の連続だと思います。その大会の結果で、また新しい課題が生まれることで、また創意工夫されます。運営のこと、運営資金のこと、審判員のこと、昇段審査員のこと、すべてが万事でしょう。参加者レベルでも

集まつた交流会がきっかけだつたそうです。ハンガリーは東ヨーロッパの美都と呼ばれ、ローマ・ヴァアチカンとの歴史的背景もあり、ここ数年ツーリスト人気もうなぎ上りですが、89年まで社会主義国であり、体制変換のあつた90年代なかばまでは経済状況も悪く、阿部哲史鍊土六段（ハンガリー剣道連盟会長）の努力によつて現地剣道関係者の支援・協力によつてここまで育つってきたのでしょうか。歐州で開催される国際大会としては春のヨーロッパ大会が一番の規模を誇ります。その他、各國の剣道選手権等も開催されています。

学校の児童生徒の日常生活へのさまざまな影響が考えられ、武道指導にも波及することは明らかである。

愛知県教育委員会体育スポーツ課
村松利之先生から、以下の要旨のご講演をいただいた。

理です。歴史的に試合ルールや剣道道具、剣、木刀、竹刀へと進化して来たことが物語っています。

個人的な考え方ですが、国家があるから人があるのでなく、人があるから国家が成り立つのではないでしょうか。そこをはき違えると、国は道を譲ります。逆に言えば、人が変わることによって國も変わります。海外であつても、国内であつても同じことではないでしょうか。私たち一般剣士の一人ひとりの剣道が明日の剣道になります。そして、国際大会での日本人選手全員の構え、手の内、足さばき、気品、気構え、姿勢、稽古、滞在中の態度、マナー、すべ

研究協力会議は、学校週五日制を「社会の変化に対応し、これからの時代に生きる子どもの望ましい人間形成を図る観点に立つて、学校、家庭、地域及び地域社会を含め教育全体の在り方を見直す中で捉えられるべき問題」と位置付け、学校、家庭、地域社会におけるそれぞれの課題や留意点を提示した。

中央教育審議会の答申では、今後の教育の基本的な在り方として「ゆとり」の中で「生きる力」を育むことを挙げ、「生きる力」は家庭、学校、家庭、地域社会のバランスのとれた教育を通して育成されるものであり、とりわけ家庭や地域社会での豊かな生活体験、社会体験、自然体験が肝要であると強調している。

しかし、子どもたちは、相反した状態に置かれている。

このことを改めるために、家庭や地域社会での生活時間の比重を高め、子どもたちが主体的に使える自分の

時間を増やし、「ゆとり」を確保することが不可欠であると力説している。その上で、「学校週五日制は子どもたちの生活の在り方や学習の環境を変え、今後の教育のあるべき姿を実現する有効な方途」と結論付けた。

完全学校週五日制になつても、学校で実施する部活動は、原則的には今までと変わらず取り組んでいくことになる。

部活動は学校教育活動の一環として行われる自主的な活動である。

スポーツに興味と関心を持つ児童生徒によって組織されており、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、スポーツの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験する活動である。と同時に、学校週五日制の諭旨を踏まえて、児童生徒が学校外の多様な活動に参加したり、体を休めたりできるように配慮することも大切なことである。

児童生徒が学校外の活動を行うようになると、地域の活動に参加することもある。部活動の対象者は児童生徒であり、指導者は教員であるが、最近では外部指導者もこれにあたる。

しかし、あくまでも学校の教育目標達成のために取り組まれる。

一方地域のスポーツは、対象者は、

子どもから高齢者まで、どの年代も参加できる。指導者はボランティアであることが多く、活動の目的でさまざまである。児童生徒も、こうして地域の活動に参加することにより生涯スポーツと関わることができるのでないかと考える。

次にわが国のスポーツの方向性について、文部科学省が出した「スポーツ振興基本計画」について述べてみる。

「スポーツ振興基本計画」の具体的な内容は次の三つの柱からなっている。

一、生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備・充実

誰でもが、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。

その目標として、早期に成人の週一回のスポーツ実施率が二人に一人、つまり五〇%となることを目指す。

二、わが国国際競技力の総合的な向上

トップレベルの競技者の育成・強化に向けた諸施策を総合的・計画的に推進し、早期にメダル獲得数が三・五%（アトランタ

のオリンピックでは一・七%）となることを目標とする。

三、生涯スポーツ及び競技スポーツと、学校体育・スポーツとの連携

子どもたちの多様なスポーツニーズに応えるため、学校を地域社会・スポーツ団体との連携を推進する。

一〇年間で少なくともひとつは、全国の各市町村に総合型地域スポーツクラブを、各都道府県に広域スポーツセンターを設置する。

この広域スポーツセンターとは、県内の総合型スポーツクラブを支援するための施設であり、運営や指導者の育成を行う。

総合型地域スポーツクラブとは、地域において、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が参加できる総合的なスポーツクラブで、文部科学省では既にモデル事業を全国各地で進めている。愛知県では、半田市、新城市、西春町、一色町で実施している。

こうした中で、武道指導のこれからについて考えてみたい。

武道教育を重視してきた背景と、

わが国の歴史は関連が深く、その時代の国民の育成に深く関わっている。学校における武道も戦後も活動禁

止の時代を経て、昭和三十三年に名称を「格技」とし、その三〇年後

平成元年に再度「武道」と変更された。

そのねらいは、「国際理解を深め、わが国文化と伝統を尊重することの育成」を重要とすることである。

また、教科体育が目指している、「生涯スポーツの楽しさや喜び」を重視する「楽しい武道」を実施することである。

武道を経験することで、日本の伝統的な行動様式に触れ、その意味を理解し修得することができる。

保護者の方々は、子どもを道場に通わすことにより、子どもたちが変わっていることは間違いない。

武道が、心の持ち方や礼儀、社会に対する行動の仕方などに影響力をもつていて、それは間違いない。

武道を、誰もが、どこでも、いつでもできるようにするために、武道に関わる人たちがどのように取り組んでいったらよいか、それぞれの立場で考えていただきたい。

武道教育を重視してきた背景と、

道 場 紹 介

館長代理 杉 田 孝 司

葵剣友会が発足して早いもので二

十五年が経過した。発足した当時は、岡崎市六供町にある甲山八幡宮の境内で、まず、石ころを拾い安全を確かめてから運動靴をはき練習に入つたものです。雨が降れば当然中止といった難儀な状態でのスタートでした。しかし、剣道の礼節を重んじる谦虚な心や態度が、次第に周囲人々に認められ受け入れられるようになります。市立梅園小学校の体育館を借りることができるようになりました。

その当時の指導員は館長が故石川富三郎、助教に石坂利明、と私の三人で、第一回生生徒が五名、正に暗中模索での船出であつたと思います。故石川館長は剣道とは、剣により道を求めるものである。即ち、仁・義・礼・智・信、これを知り、自分自身を磨き、このようなことをよくわきまえた人間になることである。理法とは、つまり、筋道、物の道理であ

る。やがてその声に賛同する父母が増え、昭和五十二年、館長の剣道に対する純粋さに感銘を受けた元松坂屋会長で、元愛知県剣道連盟副会長の鈴木正雄先生に二人のお孫さんが入

会するのを機会に葵剣友会会長に就いていた大変なことになり、同じく副会長には少年時代に石川先生から剣道の手ほどきを受けた医学博士で、現愛知県剣道連盟副会長の亀井幸雄先生にお願いし快諾を得ることがで

きた。

鈴木会長は「剣道を振興し有為な人材を輩出するには、やはり剣道の魅力を青少年に十分に訴えることができる数多くの立派な指導者の出現が従来にも増して望まれます。剣道をこれから始めようとする人に、技術的なことだけを中心になだ試合に勝つことばかりを教えるのではなく、人間としての規範をしっかりと教えることが大切です。自我意識の強い子や意欲のない子など様々な個性を持つ子供達に愛情を持つ師弟関係を築き、いわゆる「言葉が伝わる」指導者をつくることです。尊敬している大好きな人の言葉であれば少年は大好きなり耳を傾け、生き生きと立派に育ちます。会員ひとりひとりが剣道を通じて自らを修練し、新しい時代を引き継ぐ青少年を育てていくことが大切な使命である」と良く助教達に話して下さいました。現在助教は、十五名います。全員が会長の教

命であると決意されたのであります。

やがてその声に賛同する父母が増えて、昭和五十四年の第一回葵

剣道大会以来、昨年、逝去された石川館長の追悼を兼ねての第二十三回大会までを開催してまいりました。その間に二位八回、三位五回の入賞が有りましたが、残念ながらまだ一度も優勝した経験はありません。そ

して、昭和六十一年から、愛知県剣道連盟に加入し、全国大会への出場も七回経験しました。昨年は、愛知県大会中学生の部個人戦で優勝しました。

現在葵剣友会は、週三回の定期練習を組んでいます。水曜日、午後七時から九時。土曜日、午後一時から七時。日曜日、午前七時から九時の間です。その他、夏季合宿及び寒中訓練並び強化訓練とスケジュールが一杯で、私達助教も一年中全力疾走で駆け巡っております。しかし、忙しいのは助教だけではありません。その下準備は全て父母の会の役員の皆さんのが手分けをしてやつてくれるのです。指導する側とそれを補助する側が車の両輪の如く動く、それも全て明日の日本を支える子供達のためだと思います。これまで、卒業会員は一五〇名を超えて、今では自分

の子供を連れて来る会員も増えています。また、警察官・刑務官・実業団の会員も多数おり石川先生も天国でさぞ喜んでいてくれることと想います。

葵労友会は発足以来十七年間は会員も常時八〇名を越していましたが、その後、少子化問題、さらには、剣

道人気の低迷等により減少傾向にあります。しかし、私達は今こそ確かに眼を養い、子供の特性を探し出し、



剣道形大会について

豐田市金券連盟

平成十三年で第四回を数えました。

中学生が七十名、高校生、一船が十名程と小規模ではあります、が、西三河の中では先だつて剣道形を試合として事業に取り入れました。

ことになつたのは、当剣連の林邦夫会長の念願であつて子供も含め剣道形の基本である剣道形を、昇段審査の

道に生かせるように、より深く理解してもらいたいとの目的で計画されました。

当初、どの様に実施するか大変
委員会で数回打ち合わせを行ないま
した。既に静岡県で剣道形の試合が
行なつてゐることを知り、実施要

領を参考に豊田市剣連独特的の試合並びに審判規制を作成致しました。部門別では小学生の部、中学生の部、高校・一般三段以下の部、四段以上の部としました。小学生は太刀の五本目まで、中学生と三段以下の部は

実際の試合の方法は、居合道の試合とは似ていますが、二人一組（打太刀・仕太刀）でエントリーして紅白二組で演武し三人の審判の判定で勝負をつけるトーナメント戦としました。参加選手はよく稽古を積んでいた。気迫のこもった素晴らしい試合が展開されました。

形試合を行なうことの効用は、剣道に対する考え方、見方が変わります。剣の理法の修練という剣道の本質を、木刀を用いて正しい姿勢、正しい呼吸、そして正しい剣の理合を学ぶ事ができます。また、形を一心

小太刀の三本としました。中学生は七本目までは少し難しいのでは、という意見もありましたが、形を学ぶよい機会になるということで決定しました。

最近、剣道の試合において礼法が正しくできない選手が目につくという現状から、形試合に入る前後の礼を評価の中に組み込み、礼の心を養つてほしいと考えました。

ついで
剣道連盟 佐金栄一

第二に審判の問題です。前述における有効打点の判定によりも、形の判定は主観的な要素が強く、判定が割れる場合が多いのが現状であり、試合者の不信を訴えられたことがあります。この問題については、研修会を多く開催し、審判員自身の質の向上とともに、判定基準の明確化も徹底しなければならないと考えています。第三は、一般成人の参加が少ないことです。第一回大会では、四段以上の部で四組出場がありました。私も参加し残念ながら一回戦で敗退してしまいましたが、なかなか楽し

しかし、これまで四回の形大会を開催して来た中で、問題点もありました。一つは、指導者不足です。少年剣道団体においては、指導者が形を取り入れていない団体も多く、参加者が偏つております。中学校については、指導者自体不足しているうえに、練習時間がなかなか取れない、初段を受けるのに必要な五本目までが一杯である等の理由により、広く参加することができないという指摘がありました。

また、高齢者の参加が少ないのでは六段以上の方も積極的に参加して楽しんでいただきたい。私も今後は必ず参加して行きたいと思っています。審判も主催者も皆で試合し、地域の大会ならではの、競争の楽しがが出させらもつと参加者も増えていくのではないでしょうか。

ともあれ、形の試合を開催し、これまで続けることができたのは、連盟会員皆さんとの理解と努力のたまものです。平成十四年度は、西三河剣連においても形大会を新しい事業として計画されていると聞いておりま

しかし、その後の大会では、多くて
も二組しか応募がなく、試合を組む
ことが出来ない現状が続いています。
少年たちにもよい手本となるので、
高段者にも出場していただきたいも
のです。

今後どのようにこの形大会を発展
させてゆけばよいのか、これからの方
課題として、まず、全ての団体でと
りあえず皆が形を打つことができる
ように指導者を育成し、形の大切さ
を理解してもらうことから始め、底
辺を広げることが必要です。当連盟
の先生方にぜひ妙案をお願いしたい
ものです。

お薦めする本

『学び』の復権

◎主な内容（目次より）

序章 「滲み込み型」と「教え込み型」

第一章 手習型（寺小屋）の学習

第二章 儒学の学習

第三章 貝原益軒の思想

第四章 貝原益軒の教育論

第五章 徒弟制と内弟子

第六章 現代の学校と学習文化

……子どもは、おのれ自身の手足や眼や耳、五官を通じて「見習いや聞き習い」する身体的な活動によって、あらゆることを身につける。

現代の教育の問題を考えるうえで我が国が伝統的に実践してきた学習に関わることがらを、「文化」という観点からまとめあげられて いる。剣道関係の本ではないが、剣道の指導も視野に入れながら読まれると大いに参考になる。

（中 川）

お薦めする本

辻本雅史 著

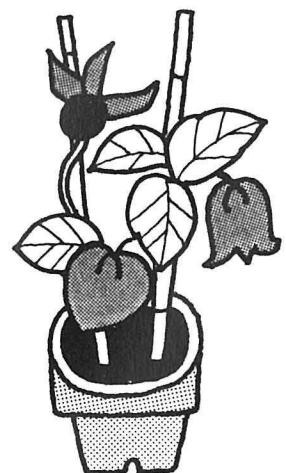
『学び』の復権

一 模範と習熟

二五〇頁

角川書店

発行 定価 一七〇〇円



最近の居合道

松岡良高

私は、平成十三年五月に、(財)愛知県剣道連盟の居合道委員長を範仕八段秋田森治先生より引継ぎました。微力ながら先輩諸先生にお力添えを頂きながら務めさせて頂いております。

居合道委員も若返り、下記の先生で運営させて戴いております。

委員長・松岡良高(愛剣連理事)

西三河地区・小林博先生

東三河地区・大岩裕司先生

尾南地区・村田和夫先生

名古屋地区・瀧順一先生

尾張地区・松下明房先生

昨年度より、中央講習会に参加した先生による伝達講習会を県下全域

を対象にした(財)愛剣連主催のも

のとは別に、委員会主催で次の様な

地区講習会を開催しました。

第一回 平成十三年五月十二日

主 管 尾南地区

半田市青山武道館

参加者 六二人

第二回 平成十三年七月七日

主 管 東海学生居合道連盟

第三回 平成十三年十一月十七日

主 管 東海学生居合道連盟

中京大学剣道場

参加者 五十人

第四回 平成十三年十二月二日

主 管 名古屋地区

東桜会館

参加者 六十人

第五回 平成十四年一月二十日

主 管 西三河地区

三好中学体育館

津島市練成館

第六回 平成十四年三月三一日

主 管 尾張地区

津島市練成館

参加者 四十人

第七回 剣道教士七段

二村忠男先生

(八十二才)

第八回 剣道教士七段

居合道教士七段

第九回 剑道六段(十三年五月二日 京都)

稻垣 章(51)

第十回 剑道七段(十三年五月三日 京都)

日比野隆夫(41)

第十一回 剑道六段(十三年五月二日 京都)

鈴木孝八(45)

第十二回 剑道七段(十三年五月三日 京都)

中村憲治(48)

第十三回 剑道六段(十三年五月二日 京都)

宮崎安正(50)

第十四回 剑道五段(十三年五月三日 京都)

寺地和則(28)

第十五回 剑道六段(十三年五月三日 京都)

夏目守雄(32)

第十六回 剑道七段(十三年五月三日 京都)

那須敏郎(35)

第十七回 剑道六段(十三年五月三日 京都)

工藤良一(38)

第十八回 剑道七段(十三年五月三日 京都)

岩屋浩正(39)

第十九回 剑道五段(十三年五月三日 京都)

後藤時子(55)

おめでとう



第七回 有効賞受賞

剣道教士七段

二村忠男先生

(八十二才)

剣道六段(十三年五月二日 京都)

稻垣 章(51)

剣道七段(十三年五月三日 京都)

日比野隆夫(41)

剣道六段(十三年五月二日 京都)

安東孝吉(43)

剣道七段(十三年五月三日 京都)

佐野嗣雄(47)

剣道六段(十三年五月二日 京都)

鈴木洋治(49)

剣道七段(十三年五月三日 京都)

宮崎伸仲(51)

居合道六段(十三年六月二十五日 岩手)

井関榮三郎(66)

居合道六段(十三年六月二十五日 岩手)

小島衆司(63)

居合道六段(十三年七月十六日 宮崎)

後藤時子(55)

剣道五段(十三年五月三日 名総体)

寺地和則(28)

馬場栄次(29)

居合道六段(十三年七月十六日 宮崎)

幸(38)

居合道六段(十三年七月十六日 宮崎)

岩屋浩正(39)

居合道六段(十三年七月十六日 宮崎)

平成14年度事業計画

三月		全道・県連地区連その他の行事件	場所	時間
1日	●第41回全日本女子柔道選手権	中村	村	9:30-16:00
2月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00	
3火				
4水				
5木				
6金				
7土	●第39回全日本中央柔道選手権(7-8日) 東海地区剣道合同稽古会 ※第2回尾張中学技術革新・創造大会	京都市名神体 村岡町	18:00-20:00	
8日	▲剣道指導者選考会 ※影山五郎・ソフツアーノ'2002	鶴鳴館	10:00-16:00 9:00-16:00	
9月				
10火				
11水				
12木				
13金				
14土	●第30回女子剣道選手権(14-15日)姫路市			
15日	○第55回日本柔道創始者記念大会 △后谷道臣連道研究会	東京都舞ヶ崎	10:00-16:00	
16月	※高島町海游館学生剣道普及・研修会 ※第1回東海女子生徒個人柔道大会	千葉 n	千葉 n	
17火				
18水				
19木				
20金	※全国警察剣道大会	玉造町		
21土				
22日	※尾南地区高校一般・女子剣道会 ※第39回西三河剣道大会	岐阜県新城市 川	9:00-16:00	
23月	▲第55回東海学生剣道選手権大会 ※第40回東海学生剣道選手権大会 ※第25回東海女子剣道選手権大会	名神体 千葉 n	10:00-16:00 10:00-16:00 10:00-16:00	
24火				
25水				
26木				
27金	※5地区女子交流稽古会	鶴鳴館	10:00-16:00	
28土	▲剣道・杖道合同稽古会	舞ヶ崎	13:00-16:00	
29日	●第48回日本東西剣道選手権(5-9日) △后谷道臣連道研究会	藤枝市中	10:00-16:00	
30月				

客地区自主線營運項目
名古屋...毎月1回
西三河...毎月2回
東三河...毎月4回
...毎月曜日第2回
...毎月曜日第2回

17

時 間	場 所	全道・県連地区選手権その他行事
1.水		
2.木	●劍道八段防護講習会 京都市	
3.金	●5月自由防護講習会(5月開催日未定) 3-5日 大阪市	
	●剣道五段防護講習会(5月開催日未定) 3-5日 京都府	
	●剣道七段防護講習会 京都市	9:00
	△東三河剣道防護講習会(8-10日) 愛知県	
	※第6回剣道防護講習会(1人) 滋賀県	
	※第6回剣道防護講習会(1人) 長野県	
4.土	○居合道八段防護講習会 京都府	
	●居合道八段防護講習会 京都市	
	△居合道八段防護講習会(6-9日) 滋賀県	
	※第6回剣道防護講習会(5日) 滋賀県	
5.日	△尾前尚友技術講習会(6-9日) 京都市	
	※第6回剣道防護講習会(5日) 滋賀県	
6月	7.火	●剣道六段防護講習会 京都市
	8.水	●剣道弓馬防護講習会 京都市
	9.木	
10.金	11.土	●剣道六段防護講習会 岐阜県
		△西三河剣道防護講習会(1人) 岐阜県
		※第6回剣道防護講習会(7日) (1人) 岐阜県
		※第6回剣道防護講習会(7日) (1人) 岐阜県
	12.日	●剣道七段防護講習会(1人) 名古屋地区四合目会(1会)
		△居合道八段防護講習会(1会) 名古屋地区四合目会
		※第6回剣道防護講習会(5日) 岐阜県
		※第6回剣道防護講習会(5日) 岐阜県
	13.月	※第6回女子剣道防護講習会(5日) 岐阜県
		△居合道女子剣道防護講習会(5日) 岐阜県
	14.火	
	15.水	△五地区女子剣道交流防護古会 岐阜県
	17.金	※五地区女子剣道交流防護古会 岐阜県
	18.土	名古屋剣道防護講習会(1-2日) 名古屋 岐阜県
	19.日	△東三河武道防護講習会(1会) 愛知県
		△東三河剣道防護講習会(1会) 愛知県
		△西三河剣道防護講習会(1会) 愛知県
		※明治館女子学生防護講習会(3日) 愛知県
		※明治館女子学生防護講習会(3日) 愛知県
	20.月	▲剣道会四合目古会 岐阜県
	21.火	●EJU10周年八段研修会(21-24日) 東京都
	22.水	
23.木		
24.金	25.土	●第7回女子剣道防護講習会(25-26日) 東京都
		△現地・評議会員会
		△会合・評議会員会
	26.日	△東三河剣道防護講習会 愛知県
		※第6回岐阜県高砂改修会(回本期) 岐阜県
		※第6回岐阜県田所防護講習会 岐阜県
		△西三河四合目防護講習会 愛知県
		※第5回かきつばた杯少年剣道大会 岐阜県
27.月		

各地

財團法人
臺東縣道運監

时田注 爰知昌剑道清明

11月		全連・県連・地区連その他の行番		場所	時 間
1.金	2.土	● 全連連盟50周年記念大会	東京都	名都体	18:00
		▲ 東海地区連合開拓占会	高 洋	野球場	
		※西三河連合開拓占会	（岐阜）三河運動館		
	3.日	※愛知県連合開拓占会（1・3回）	（岐阜）三河運動館		
4.月		※愛知県連合開拓占会（10人）正 優	（岐阜）三河運動館		
		○ 第50回全日本柔道選手権大会（6-30）	大 厅		
		△ 成田山鶴鳴山開道祭	大 山		
		△ 尾山南郷道筋・誓々会（1-30）	大 厅	15時練習	9:00
		※名古屋道筋・誓々会（15駆）	田 野	演 演	9:00
5.火	6水	△ 20周年道筋大会	同 場		
	7木	※愛知県連合開拓占会	（岐阜）三河運動館		
8.金	9.土	● 刈六農業者会	北把馬		9:00
		○ 第5回全国青年道筋大会（9-10日）	東京都		
		※西三河連合開拓占会	（岐阜）三河運動館		
		※愛知県連合開拓占会（10人）	（福井）石川 講堂		
10.日		● 岐阜七段防災会	北把馬		9:00
		○ 第21回岐阜県学生柔道選手権大会	原町道筋		
		△ 東三河連合開拓占会（9-30）	原町道筋		
		△ 西三河連合開拓・誓々会（9-30）	和 立		
		※愛知県連合開拓占会（岐阜）	（岐阜）三河運動館		
11月		○ 合道七・七四聖会	北把馬		
12火		※豊島県柔道新規大会（岐阜）	東京都		
13水		○ 第45回七段防災会	梅 梅	9:00	
14木		△ 西三河連合開拓・誓々会（安城）	清 郡	3:00	
15金		△ 名古屋道筋・誓々会（C-3駆）	安 城		
		※東三河連合開拓・誓々会	梅 梅	9:00	
		○ 合道七・七四聖会	舞 蟻館	9:00	
		△ 豊島県柔道新規会	北把馬	18:00	
16火	17水	※五地区女子柔道交流稽古会	名都体		
		○ 合道七・七四聖会	東京都		
		※豊島県柔道新規会（東京）	舞 蟻館	13:00	
		○ 合道七・七四聖会	同 場	演 演	9:00
20木	21水	※西三河連合女子柔道交流稽会	東京都		
		※愛知県柔道新規会（東京）	舞 蟻館		
22金		○ 公立武道館柔道稽古会	東京都		
		※西三河連合柔道稽古会	東京都		
23金		● 割合道・松原合同稽古会	東京都		
30土		▲ 合道・松原合同稽古会	東京都		13:00
		※西三河連合柔道稽古会	田 一		
		※尾張強打開拓の	宮		17:00

-21-

20-

連盟所在地

財団法人 愛知県剣道連盟

理事長 山本重夫
事務局長 竹味由登

〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通り2-41 ウチフジビル2F
TEL052-481-0093 FAX052-481-0095

尾張地区剣道連盟

理事長 青山定男
事務局長 寺澤将美

〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 一宮武道館内
TEL0586-43-1023 FAX同じ

名古屋市剣道連盟

理事長 深田正夫
事務局長 田中弘

〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 富士美ビル2G
TEL052-361-8073 FAX同じ

尾南地区剣道連盟

理事長 北村豊
事務局長 伊藤勲次

〒477-0037 東海市高横須賀町真光寺20番地
TEL0562-32-0103 FAX同じ

西三河剣道連盟

理事長 林邦夫
事務局長 塩野谷厚

〒471-0079 豊田市陣中町2-5-7 井上一久方
TEL0565-33-5646 FAX0565-33-8067

東三河剣道連盟

理事長 富田孝夫
事務局長 清水和男

〒443-0043 蒲郡市元町4-1
TEL0533-67-3232 FAX0533-67-3232

平成14年度事業計画

財団法人 愛知県剣道連盟	
月	全道・県連・地区連その他行事
1月	▲東海地区剣道合同稽古会 ※東三河稽古始め
2月	▲剣道合同稽古会 紙鳴島
3月	▲県連稽古始め（剣・居・長） 紙鳴島 ※東三河稽古始め
4月	▲県連稽古会 紙鳴島
5月	▲県連稽古会 紙鳴島
6月	▲剣道合同稽古会 紙鳴島
7月	▲県連稽古始め（剣・居・長） 紙鳴島
8月	▲県連稽古会 紙鳴島
9月	△14年度県連・JR連絡剣道交流大会 岐阜県 ※西三河剣道稽古会
10月	▲居合道講習及び稽古会（終） 中京大 豊田 ※鈴鹿・三河両学校新入剣道大会 剣道講習
11月	▲居合道講習 岐阜県 ※名古屋高等専学校新入剣道大会
12月	▲居合道講習 岐阜県 ※名古屋高等専学校新入剣道大会 剣道講習
13月	▲居合道講習 岐阜県 ※尾張居合道演武会
14月	▲居合道講習 岐阜県 ※名古屋高等専学校新入剣道大会
15月	▲居合道講習 岐阜県 ※名古屋稽古始め 岐阜県 ※西三河稽古始め
16月	▲居合道講習 岐阜県 ※名北精道高等学校生剣道大会 岐阜県 ※西三河高等学校生剣道大会 岐阜県 ※鈴鹿中部日本剣道大会
17月	▲居合道講習 岐阜県 ※尾張居合道稽古会 岐阜県 紙鳴島
18月	▲居合道講習 岐阜県 ※尾張居合道稽古会 岐阜県 紙鳴島
19月	▲居合道講習 岐阜県 ※尾張居合道稽古会 岐阜県 紙鳴島
20月	▲居合道稽古会 岐阜県
21月	▲居合道稽古会 岐阜県
22月	●長道地区稽古会（25-26日） 東京都 ▲2月19日㈯～20日㈰　練習会 岐阜県
23月	▲長道講習及び稽古会（5段） 岐阜県
24月	▲県連設立50周年記念事業 名古屋市 ※名古屋春季少年剣道大会 岐阜県
25月	●1月2日県連稽古会（27-28日） 岐阜市 ○1月12日県連稽古会（27-28日） 岐阜市 ●1月25日会員登録料金（27-28日） 岐阜市
26月	▲県連設立50周年記念事業 名古屋市 ※名古屋春季少年剣道大会 岐阜県
27月	●1月12日県連稽古会（27-28日） 岐阜市 ●1月25日会員登録料金（27-28日） 岐阜市
28月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市
29月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市
30月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市
31月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市

財団法人 愛知県剣道連盟	
月	全道・県連・地区連その他行事
1月	▲東海地区剣道合同稽古会 岐阜県 ※東三河稽古始め
2月	▲剣道合同稽古会 紙鳴島
3月	▲県連稽古始め（剣・居・長） 紙鳴島 ※尾張小中学生剣道大会 岐阜県 ※高校名古屋北側道場握手大会 岐和 ※長道地区稽古会 紙鳴島
4月	▲剣道合同稽古会 紙鳴島
5月	▲剣道合同稽古会 紙鳴島
6月	▲剣道合同稽古会 紙鳴島
7月	▲県連稽古始め（剣・居・長） 紙鳴島
8月	▲県連稽古会 紙鳴島
9月	△第4回東海四県剣道大会 岐阜県 △第4回東海四県剣道大会 岐阜県 ※2001年春季新規会員登録料金（27-28日） 岐阜道館
10月	△第4回東海四県剣道大会 岐阜県 ※2001年秋季新規会員登録料金（27-28日） 岐阜道館
11月	△第4回東海四県剣道大会（往） 岐阜道館
12月	△第4回東海四県剣道大会（往） 岐阜道館
13月	△第4回東海四県剣道大会（往） 岐阜道館
14月	△第4回東海四県剣道大会（往） 岐阜道館
15月	○選抜全日本学生団女子剣道大会 東京都 16日
16月	△第4回東海四県剣道大会 岐阜県 岐阜道館
17月	▲剣道合同稽古会 岐阜県 岐阜道館
18月	●長道地区稽古会 岐阜県 岐阜道館
19月	●長道地区稽古会 岐阜県 岐阜道館
20月	●長道地区稽古会 岐阜県 岐阜道館
21月	●長道地区稽古会 岐阜県 岐阜道館
22月	●長道地区稽古会 岐阜県 岐阜道館
23月	●長道講習及び稽古会（5段） 岐阜県
24月	●長道講習及び稽古会（5段） 岐阜県
25月	●長道講習及び稽古会（5段） 岐阜県
26月	●長道講習及び稽古会（5段） 岐阜県
27月	●1月12日県連稽古会（27-28日） 岐阜市 ●1月25日会員登録料金（27-28日） 岐阜市
28月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市
29月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市
30月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市
31月	●居合道・長道合同稽古会 岐阜市

備考
 ●全剣道 ○全剣道開催 ◆県連 △県連開催
 各地区自主練習開催日 名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00) 尾術…毎月第1金曜日(19:00)
 西三河…毎月第1回 東三河…毎月第2・第4金曜日

この度、本連盟副理事長剣道八段林邦夫先生（中京大学教授）が「競争から創造への剣道体験論『剣道で学び得たもの』」を上梓されました。発行（財）日本武道館 定価二四〇〇円 内容・構成は次のとおりです。

- 第一章 父と母
- 第二章 本格的に剣道を始める
- 第三章 大学剣道部での修業
- 第四章 大学日本一を目指して
- 第五章 師に学ぶ
- 第六章 学生とともに
- 第七章 研究・指導
- 第八章 剣道部監督として
- 第九章 柳生新陰流に学ぶ
- 第十章 剣道八段審査
- 第十一章 競技の剣道から自己実現の剣道へ
- 第十二章 未完の自覚

本書は、月刊「武道」で連載されたものの単行本化です。

ご注文・お問い合わせは左記へ

FAX 052(201)4331

△本社（名古屋市中区3の丸1／6／1

問い合せは 電話 052(221)0793

◇豊橋支局（豊橋市八町通3／91）

FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局（岡崎市東明大寺町16／18）

FAX 0564(25)1554

◇豊田支局（豊田市美山町3／34／34）

FAX 0565(25)1118

◇一宮支局（一宮市大江1／13／13）

FAX 0586(72)5035

◇半田支局（半田市出口町1／45／18）

FAX 0569(23)2372

◇春日井支局（春日井市鳥居松町3／60）

FAX 0568(81)2797

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

- △本社（名古屋市中区3の丸1／6／1
FAX 052(201)4331
問い合わせは 電話 052(221)0793
- ◇豊橋支局（豊橋市八町通3／91）
FAX 0532(54)4655
- ◇岡崎支局（岡崎市東明大寺町16／18）
FAX 0564(25)1554
- ◇豊田支局（豊田市美山町3／34／34）
FAX 0565(25)1118
- ◇一宮支局（一宮市大江1／13／13）
FAX 0586(72)5035
- ◇半田支局（半田市出口町1／45／18）
FAX 0569(23)2372
- ◇春日井支局（春日井市鳥居松町3／60）
FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることがありますので、
先ず一報を

編集後記

二〇〇一年は、教育委員会のキャンペーンである「青少年健全育成活動」を当連盟もその趣旨をとりあげ「親と子と剣道」特集として各地区の代表の方に投稿して頂きました。さて本連盟も戦後五十周年を迎えることになりました。二十一世紀の連盟も改革し、より一層各会員から信頼されされるよう努力する所存でございます。会員各位から率直なご意見ご要望のご投稿をお待ちしております。引き続き新聞へのご投稿を重ねてお願い申し上げます。

編集委員長
白若中田
石松川中
裕幸治
章雄彦弘

編集委員
白若中田
石松川中
裕幸治
章雄彦弘

広報「観の眼」第二十六号

平成十四年七月一日

財団法人 愛知県剣道連盟

〒453-0044
名古屋市中村区鳥居通り二ノ四一
ウチフジビル二階

電話(052)481-10093
FAX(052)481-10095

題字・故竹田弘太郎名誉会長